

NYA 会報

Nagasaki Young Generation Association

スローガン
心意気

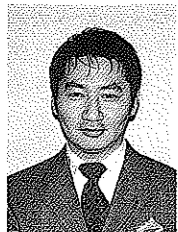
2001
4

発行 ▶ NYA (社) 長崎青年協会 / 長崎市五島町2-14 長崎印刷ビル3階
TEL.095-821-1625 FAX.095-823-7375
会長 野島徹也 編集 ▶ 広報委員会 委員長 井手清治

4月号のテーマ「門出」

会長挨拶

会長 野島徹也



いよいよ21世紀も幕を開け新時代へと突入しました。皆さんはどんな21世紀を想像していたでしょうか。夢描いていた新世紀に社団法人長崎青年協会は33年目を迎えます。今年度のスローガンは「心意気！」これは時代が変わろうともいつまでも変わらない青年協会のエネルギーだと考えます。今

年は新時代にあった青年協会を模索すべくいろいろな事に「心意気！」をもってチャレンジして行こうと考えております。青年協会での活動は、参加することにより何かをつかむ事が出来る活動です。厳しい時代ではありますが、家庭を守り、仕事を伸ばしながら青年協会活動において人をつくり、町をつくり、心と心が通う楽しい時代を会員みんなで築きましょう。

平成13年度の役員・理事者の抱負



副会長 前田 哲也

青年協会にとってここ1、2年はいろいろな意味で「協会とは？自分たちの活動はどう有るべきか？」が問われる大事な年になるでしょう。会長を補佐することは勿論、会員の皆さんの「ご意見箱」の役割を果たせればと思っています。…とは言いながら、『自分なりに楽しみたい！』



副会長 山室 敏紀

今年のモットーは「青い熊」。あ・焦らず、お・奢らず、い・威張らず、く・腐らず、ま・巻かれず。



直前会長 地島 秀

本年度協会活動最後の年、最年長者として自覚を持ち、協会の素晴らしさを後輩に身を持って伝承していきたいと思ひます。又、出来る限り協会活動に参加し事業を通じて皆さんと共に喜びを味わえる一年にしたいと思ひます。厳しい事情も有りますが、皆さん、チャレンジ精神を忘れることなく前向きに頑張りましょう。



事務局長 広瀬 健司

今年度、事務局長を務めさせていただきます。在籍12年の間に諸先輩より受け継いだ想い等を踏まえ、また若い会員の考えを吸収しつつ、円滑な理事会進行、事務局管理を頑張りたいと思ひます。皆様のご指導、ご協力よろしくお願い致します。



21世紀ビジョン推進室理事 田川 清浩

「自身と誇りそして感動を持って」一つ一つの事業をみんなの力で成し遂げ新世紀の第一歩としましょう。



総務室長 吉田 浩文

今年度は次代に引き継ぐ総務室として、新たな例会と広報誌に挑戦していきます。委員会がひとつにまとまり、メンバーが楽しくやりのある活動ができるよう手助けし、結果としてその挑戦が「成功」で終われるよう努力していきたいと思ひますので、皆様のご協力とご理解をお願いいたします。



会員交流室長 馬見塚 純治

いよいよ新年度がスタートします。毎年青年協会を引っ張ってきた先輩達が卒業していき、気がつくともいよいよ最終ラウンドを迎えることになりました。今年度は恩返し1年で頑張ります。研修開発委員会が一人でも多くの仲間を集め、交流委員会が楽しい交流で全会員の一致団結へ導いてくれるような協会活動が出来るように、バックアップしていきます。心意気には心意気で応えていきましょう。



事業室理事 寺本 正弘

平成13年度は役員の一員として協会に対し一層の磨きをかけることはもとより、私自身も自己研磨して、更なる躍進を図りたいと思ひています。協会も一つの家庭と考え、最良に機能するには、明るいこと、争いが無いこと、潤いがあること、喜びに満ち溢れていることを目指して努力精進致します。



事業室理事 吉野 忠幸

野島会長のもと事業室理事という立場に身の引き締まる気持ちです。地域社会委員会の青少年の健全育成と福祉を十分に考え、全体事業として皆様方会員が団結して素晴らしい一年になるよう頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。



企画推進室長 峰 章二

本年度の対外事業の窓口として室長を任命され光栄に思っております。青年協会憲章の下、「楽しく・仲良く・前向きに」を胸に努めさせていただきます。又、「みなとまつり」をはじめ沢山の事業に関わるため、会員の皆様の多大なるご協力を頂きながら一年間、試練の年と思ひ企画推進室一同頑張っていきます。



監事 沖迫 司

青年協会最後の年に監事をおおせつかり、身の引き締まる思ひです。昭和63年5月に入会し、早13年になりますが、自分自身あまりお役にたてなかったという感があります。残された1年、永く協会を見てきた目で、少しでも協会活動に寄与出来るよう頑張りますのでよろしくお願い致します。



監事 渋谷 晃

早いもので、H3年7月に入会から10年目の年となり、更に今年度、我々の年代(牛虎会)が卒業となります。いつの間にかベテランの部類になってしまったのだなあ、と、つくづく感じる今日この頃です。昨年、役員初経験の私のために前年度理事者の方々には多大なるご迷惑をおかけしたことをこの場を借りてお詫びすると共に、その経験を活かし今年1年間監事役を全うしていきたいと思ひます。



総務例会委員長 伊豫屋 貴俊

本年度の例会は、そのあり方が大きく変わります。勿論協会活動の基本が毎月21日の例会である事に変更はありませんが、毎月の例会場にて「楽しく」「ためになる」時間を演出することは今迄と同じです。何がどう変わるか、4月の定時総会でお話し致します。(来てね…)



広報委員長 井手 清治

初の委員長を初の広報委員会で迎える事になりました。休会中を含む全会員に協会情報が伝えられるようにしたいと思ひます。この一年間、委員会のメンバーと共に委員会活動、協会活動を通して自己の建設に努めたいと思ひます。



研修開発委員長 坂上 隆弘

21世紀最初の委員長に選ばれ身の引き締まる気持ちです。今年の新入の開発は、会長から委員まで一丸となって頑張り、私は研修に力を入れたいと思ひます。今、何のために協会があるのか、なぜ参加したのか初心に戻るのではなく、今が始まりとして委員会で頑張っていきます。



交流委員長 山口 雄一郎

今年度は会員数が70数名に減少し、青年協会には我慢の年になることが予想されます。そういう年の交流委員会としては「会員の団結」をテーマに一年間頑張りたいと思ひます。当委員会としては内部の充実を重点におき、退会者を出さないためにも、会員の年代を超えた心と心の交流が出来る事業を提案し、実行しようと考えています。会員の皆様に一人でも多く事業に参加して頂けるよう当委員会をアピールしていきますので宜しくお願い致します。



地域事業委員長 原 喜一郎

今年は初心に戻り、最後の協会活動となりますが、厄入りとくち事業に精一杯力を注ぐ覚悟でいます。今、私たちは何をすべきなのか自問自答し、長崎青年協会、そして大好きな長崎のため、一人の力では出来ないことでも多くの会員と共に力を合わせるにより無限の可能性が広がると思ひます。皆様と共に力を合わせて後世につなげられるよう実行して参りましょう。



地域社会委員長 三瀬 健司

野島会長より委員長のお話を頂き、仕事の事や家庭の事を考え最初は断るつもりでしたが、声がかかったのは嬉しい事だな、とも思いました。昨年度委員長をして、自分は上に立つ人間ではない、と思ひましたが、今年度は吉野理事、宮崎誠、麓副委員長の支えと素晴らしい委員の皆さんの助けがあると思ひた瞬間、何か吹っ切れました。委員会から楽しさを発信し、協会全体を楽しくしていきたいと思ひます。

卒業を送る夕べ

平成13年3月21日(水)／ホテルニュー長崎



地島会長挨拶

今回は昭和35年度生まれの会長経験者3名を含む13名(内3名欠席)の卒業の門出をお祝いするために、現役会員53名、OB34名が出席する中、盛大に開催された。

ブレザー姿で卒業生が入場後、地島秀会長が挨拶の中で、卒業生との思い出を語った。三浦勝太OB会会長挨拶、ミニ例会と続き、田川清浩副会長の乾杯により歓談が始まった。



三浦OB会会長挨拶

卒業生を中心に歓談が進む中、バンド演奏、OB紹介、笑い涙ありの卒業生と奥様よりのメッセージ、卒業生対象の「およろこび」が行なわれた。

最後は青年協会の歌、野島徹也次年度会長による万歳三唱で締め、今回卒業された櫻井

俊郎作詞による「友」が流れる中、卒業生を送り出し、予定を1時間オーバーしたものの、無事送る夕べは終了した。例会委員会の皆様、お疲れ様でした。



卒業の門出(写真上)／御出席頂いたOBの皆様(写真下)

御卒業の皆様へ最後のインタビュー
問1：青年協会の「一番の思い出」
問2：青年協会の後輩達に贈る言葉



和田正信君 S62年5月入会

答1：なんとと言っても初めて委員長をさせて頂いたときです。特別事業(くんち事業)委員長として、毎日大変でした。会社に10日間休みをもらい、一生懸命頑張ったことは今でも忘れられません。それと、会長をした時です。個人的に人生の中で大変な時だったのですが、会員の皆様に助けられ、無事大役を果たしたときは、皆様に感謝し、感無量でした。
答2：「今を大切に」「今しかできない」「今だからできる」を、忘れることなく頑張ってください。



猿渡卓君 S62年8月入会

答1：新人研修でバスケットボールをした時、37歳過ぎの先輩達がきつそうだったのを見て、年老いた?会員には無理な企画だったかなと感じたこと。
答2：青年協会を動かしているのは委員会だと思って欲しい。それには理事会に惑わされずに、委員会独自の力を皆で出し合い、委員長、副委員長を助ける縁の下力持ちになって下さい。又、委員長を2回は体験し、その役割を身を持って知って下さい。



伊藤克樹御夫妻 S62年10月入会

答1：広報委員長を引き受けたとき、丁度おくんちの踊り町の年で大変忙しい中、委員会のメンバーが作成した原稿を朝まで編集していたこと。
答2：青年協会への思い...は仲間一友一ということで、青年協会応援歌の歌詞を読んでみて下さい。そして、そこからお金では得ることのできない大切な何かを、一つでも多く感じ取ってほしいと思います。



田川俊幸御夫妻 S63年4月入会

答1：青年協会の中で多くの先輩、仲間、後輩と知り合い、人生観が変わるほどの沢山の経験をした事。
答2：多くの仲間とチャレンジ精神を持って今後も青年協会を盛り上げて頂きたい。私の青年協会での13年間を支えて下さいました皆様(含家族)、本当に有り難うございました。



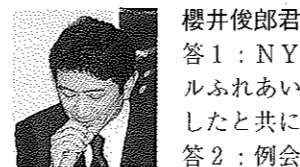
松尾浩御夫妻 S63年5月入会

答1：多くの皆さんとお会いできたのが自分自身の思い出であり、財産だと感じています。最終年度に同好会ではあったものの、市民早朝野球Cクラスでベスト4は私にとって最高の思い出でした。
答2：多くの人と出会い、それを活かしていくことにより自分自身の成長につながります。特に同い年の皆とは常に連携をとり、最後まで掛けることなく卒業してください。



湯藤正典御夫妻 S63年9月入会

答1：くんち委員会の時、売上金の小銭をオイル缶につめ、バイクで協会へ持って帰る道すがら、我々のすぐ横で暴走族とパトカーとのバトルが始まり、やっとのことで協会へ。もうひやひや、どきどきものでした。
答2：協会での経験、体験は将来必ず自分の役にたつので、無理をしないで頑張ってください。



櫻井俊郎君 H元年5月入会

答1：NYA25周年の「第1回風船バレーボールふれあいINながさき大会」の開催。充実したと共にめちゃきつい1年だった。
答2：例会、委員会、事業等に「行くと誰かがいる」という気持ちで参加すると案外スムーズに打ち解けると思う。今後会員確保も厳しくなると思うが、一人々が憲章の気持ちで手綱を締めて盛り上げていって下さい。



梁瀬億則君 H元年6月入会

答1：昨年度委員長をさせて頂き、市内の中高生と共にオランダに行ったことが最高の思い出です。
答2：このご時世いろいろ大変でしょうが、青年協会スピリットを忘れず、悔いの無い協会活動を送って下さい。



吉田正幸御夫妻 H元年7月入会

答1：沢山の思い出を残すことが出来ました。中でも委員長を努めさせていただいた会員交流、地域活性委員会の時期です。委

員会のメンバーに協力して頂き、大事な、学ぶ事の多いこの思い出は私の一生の宝です。
答2：一生懸命とにかく一生懸命頑張ることです。



濱崎俊哉君 H4年9月入会

答1：出席率は良いほうではありませんでしたが、おくんち事業にはたとえ数時間でも出席して食品ブース、ゲームブースなど担当させていただき良い思い出が出来ました。
答2：あまり出席していないので知らない方もいるとは思いますが、濱崎というのがいたなと、頭の隅にでも置いて頂ければ、又、街で会った時、一声かけてくだされば幸いです。



中山一郎君 H5年5月入会

答1：最後の1年はほとんど参加していないので残念でしたが、それまでの間で多くの人に出会えたこと。
答2：私が言うのも変ですが、最後まで頑張ってください。



原田文忠君 H6年5月入会

答1：青年協会に入会していろんな友人が来て、未経験な出来事が沢山あった。私の人生も良い方向へ大きく変わった。皆さん有り難うございました。
答2：皆さんも仕事や私生活を頑張って、一步一步成功へ向かって下さい。



河野文彦御夫妻 H7年4月入会

答1：青年協会に入会して異業種の友達が沢山出来ました。又、飲めなかった酒を飲むようになって良かった。
答2：細く長く続けてください。



お酒も入って絶好調!!

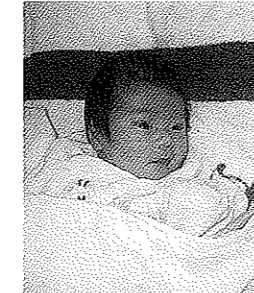
平成12年度
例会皆勤賞
おめでとうございます

池田佳央君
吉野忠幸君
原田文忠君
酒井真君

●●● お子様誕生おめでとうございます ●●●

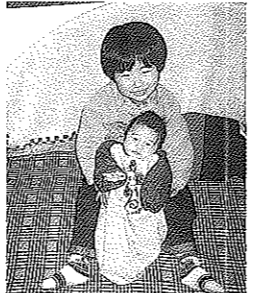
大隈信一君
次女 綾花ちゃん

平成13年3月2日生
父より
「人を思いやる心を持った優しい人になってほしい。」



桂雄剛君
次男 嵐斗くん

平成13年2月15日生
父より
「たくましく育って欲しい。」



■ 同好会だより ■

▶ゴルフ同好会

去る、4月1日(日)喜々津カントリー倶楽部におきまして、第4回地島会長杯ゴルフコンペを開催しました。当日は快晴のもと、総勢20名の参加を頂き楽しく行われました。
優勝は竹中悟OB、準優勝は桂雄剛君でした。
次回は、地島会長杯取り切り&第1回野島会長杯を行いますので、多数の参加お待ちしております。

—— 編集後記 ——

いよいよ始まった今年度。卒業生の門出、役員・理事者の門出と共に会員の皆様におかれましても新しい委員会で新しい門出を迎えられていると思います。
そして、本広報誌『NYA会報』の門出でもあります。ところで今回の広報紙はいかがでしたでしょうか?今年度はこのようにA3版1枚になります。
1枚だから読み甲斐がない。と、言われないように広報委員会一丸となり頑張りますので、1年間よろしくお祈りします。